

【近畿ESDコンソーシアム・学生によるESD活動支援】

奈良市立西大寺北小学校 野外活動支援 活動報告書

教育学専修 2 回生 宮木 舞

1. 日時 : 2023 年 5 月 31 日 (水) 13 : 30 ~ 21 : 00
2. 場所 : 奈良市青少年野外活動センター
3. 参加者 : 英語教育専修 3 回生 苗代 昇妥
教育学専修 2 回生 宮木 舞
国語教育専修 2 回生 無量井 夏音
美術教育専修 2 回生 東 端
特別支援教育専修 1 回生 長尾 希颯
数学教育専修 1 回生 奥村 壮之佑



キャンプファイヤーの様子

4. 活動の概要

2023 年 5 月 31 日に奈良市青少年野外活動センターにて、奈良市立西大寺北小学校 5 年生の野外活動が行われ、その支援を目的として本学ユネスコクラブの学生が参加した。活動支援の具体的な内容は、野外炊飯の指導・補助、キャンプファイヤーの準備、スタンプの実施などである。

5. 参加学生の学び・感想

今回の活動を通して私が学んだことは、安全を確保する重要性である。今回、野外炊飯とキャンプファイヤーで支援を行った。その中でも特に、キャンプファイヤーで火が大きくなり、火の粉がかなり飛んでいた。広い範囲に飛んでいたため、子どもたちが火に近づきすぎないように配慮する必要があった。近づきすぎている子どもに声掛けを行ったり薪を追加する時には特に気を配ったりして安全確保に努めた。子どもたちが火傷や怪我を負ってしまうと野外活動を楽しめなくなってしまう。安全に野外活動を実施できるように今後も支援を行っていきたい。
(英語教育専修 3 回生 苗代 昇妥)

今回の野外活動支援では児童への指示が通りにくく、想像する力がないと無事に野外活動を終わることができないということを学んだ。児童はもちろん私たち大人も野外活動という非日常を楽しんでしまうのでいつもよりも慎重に物事を考えなくてはならないと分かった。
(教育学専修 2 回生 宮木 舞)

今回の野外活動支援では、思っていたよりも児童へ指示を通すことが難しいと感じた。危険な活動が伴うため、指示は重要である。指示を聞く体勢作りをすることや、簡潔にすぐ実践できるように示すことが効果的であると学んだ。
(国語教育専修 2 回生 無量井 夏音)

野外活動は、危険な状況になることが多く、全体にしっかりと注意を払う必要があることを実感した。また、怪我をした児童の対応を事前に準備しておくことが大切だと感じた。一人一人の状態に気づき、対応できる力が必要であることが学習できた。
(特別支援教育専修 1 回生 長尾 希颯)

今回の野外活動支援を通して、児童に対する声掛けが想定よりも届いていなかった事に加えて、想定していないことを聞かれるなど、人数も多いため常に周りに気をつけることと臨機応変な対応をすることが必要であるという難しさがあった。
(数学教育専修 1 回生 奥村 壮之佑)

今回の活動から児童が持つ火に対する危険意識は低いことを学んだ。活動中、燃え上がる火に向かって走り出す子どもたちの姿が印象的だった。今回学んだことを次の機会に活かし安全な野外活動となるよう支援の仕方を工夫したい。
(美術教育専修 2 回生 東 端)